

Trait d'union

トレデュニオン

No. 65
2020-12



- SFC 西日本支部補習講座
フットプリントの採り方・見方・活用のしかた 2-7
- SFC 東日本支部補習講座
中敷・既存パッドを使ったサイズ調整の知識と
ブーツのフィッティング 8-13
- 海外展から読む 2020～2021 秋冬シューズトレンド 14-17
- FHA 会員企業紹介 18-19
- 事務局便り 20





SFC 西日本支部補習講座 2020年8月26日(水) @大阪 CIVI 研修センター新大阪東

フットプリントの 採り方・見方・活用のしかた

講師 管野 博久 氏

有限会社 かのシューズ 代表取締役

2020年8月26日(水) 大阪 CIVI 研修センター新大阪東にて、「フットプリントの採り方・見方・活用のしかた」と題した講座が開催されました。

今回の講師は、上級シューフィッターで有限会社かのシューズ代表の管野博久氏。

地元の岩手県で自身のシューズショップを経営されながら、様々な肩書をお持ちであり、店外でも足靴に関する啓発活動を行われています。


優しい語り口で、理解しやすい説明。常にシューフィッター目線でお話して下さり、私自身も共感できることが多く、とても印象深い講義となりました。

今回の講座内容をピックアップしてご紹介させていただきます。

報告者 SFC 西日本支部 倉富 美紀

フットプリンター一式は、誰でも必ず使用している、持っている道具ではありません。
まずは、「何故、使用するのか？必要とするのか？」を知ることからスタートし、今回の講義のタイトルに繋がっていくのです。

フットプリントを採取する目的と意義




フットプリントを採取する目的と意義

目的
足の形、荷重、変形、**バランス**などの情報収集をして、**現状を視覚的に**お客様に伝える。

意義
お客様が現状を理解し、靴選びを通じて**一緒に問題解決を図り快適歩行に導く。**

フットプリントには数多くの利点があります。
採取した方だけが理解・解釈するのではなく、一番のメリットは採取された方にも視覚的に情報を伝えることが可能ですから、説明にも納得して頂ける筈です。
フットプリントは採取することが目的ではなく、問題を共有して靴選びに活かし、問題解決を図ることが重要といえます。

快適歩行までの接客の流れ



快適歩行までの接客の流れ

【情報収集】
・聞く：**困りごと** 過去の怪我 スポーツ・仕事歴 **履物(長時間)**
・見る：**浮趾** 外反母趾(左>右) 胼胝 関節の稼働域など **靴**
・足型計測 ・ペドカルテの作成 ・**フットプリント**
ポイント：バランスが崩れる要因を探る

【伝達する】 **その人の現状を判断して正確に伝える。**

【歩行】 履いてきた靴の歩行バランスを確認する

【靴選び】 フィッティング+微調整 ⇒ **快適歩行**

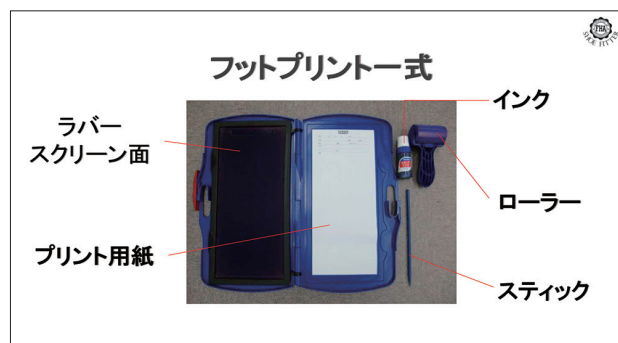
足靴のお悩み相談で来店されるお客様は、何らかのトラブルを抱えておられます。
その原因は足元のバランス不良によるトラブルが多く、なぜ、バランスが悪くなるのかを考えながら接客することが重要となります。
これまで情報収集を数多く行い、過去のデータを分析していくと、バランス不良になる要因で一番多いのが、過去の怪我・仕事などで長時間履いて使用している靴などが原因として考えられる結果が導き出されたそうです。
そこでフットプリントを採取し、総合的な評価を視覚的にお客様に伝えることで問題点を共有します。
その後は問題解決に向けた靴選びを、スムーズに進めていくことが可能となります。そして選んだ靴を履いて

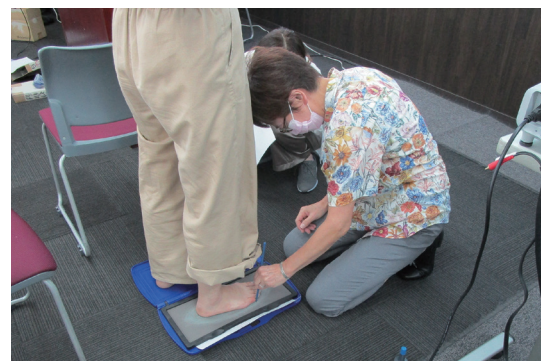
必ず店内を歩いていただき、トラブルが解消したかを確認していきます。必要に応じて、採取したフットプリントを参考にしながら調整を加えます。これがフットプリントも利用した「問題解決型接客」の流れとなります。

今回のフットプリントも含め、ペドカルテ計測などは立位で静止した状態で行うことが殆どです。
しかし足元のトラブルは、立っている時には発生しにくく、多くは歩いている時に発生します。
販売前に店舗内で靴を履いた状態で、しっかり歩いていただくことも重要なポイントになります。

フットプリントを採取する目的と意義、快適歩行までの接客の流れの講義の後には、実際に道具を使用して行う、実技に向けての講義となります。

フットプリンター一式





フットプリントで用意するもの

フットプリントで用意するもの

- フットプリンター 一式
- マット
- 背もたれ付きの椅子など
- 足を拭く消毒用シート
- ゴムが劣化しない消毒剤
- 定規、分度器、ペン

素足対応
転倒防止
素足対応
感染対策
作図



上記の説明に「※付属の透明なシートはつかわない」とありますが、フットプリント専用の用紙には、シートが付いているものがあります。これは足を置いた時に滑ることも心配されるので、管野先生は使用されていないとのことでした。

「●定規、分度器、ペン 作図」とあります。

選んだ靴にパッキングなど施す際、フットプリントで作図することが可能です。作図の時に定規・分度器・ペンを使用します。

フットプリントの採取方法

フットプリントの採取方法

- 高齢者などバランスの悪い方には**支える椅子を準備する。**
- 分かりやすく**“足のハンコとらせて下さい”**と話す。
- ローラーはスクリーン面に水平に均一にインクを塗る。
- ズボンの場合は裾をロールアップしてもらう。
- 足底の筋肉をほぐす。**足踏み**：動きを見て歩行を予測する。
- 転倒するので**足を引いて誘導してはいけない。**
- 重心が変わる為**“足元を見ないで下さい。”**と声をかける。
- スティックはラバーに**垂直に走らせ趾間には入れない。**
- ランドマークをつける。

受講生の方にモデルとしてご協力いただき、まず管野先生によりデモが行われました。

専門用語はできるだけ控えて、相手には分かりやすく伝え、採取の際に転倒しないように誘導していくことが大事になります。

売り場などでの採取になると、先ほどまで靴・靴下を履いておられた状況が殆どだと考えられます。ですから素足になっていただいた際に、筋をほぐす意味でも足踏みをその場でしていただき足趾の浮き、バランス、動きを確認します。足踏みの際は、トラブルを感じている足から上げる傾向が強いとのことでした。

スティックを使用する際の注意点は、ラバー面に垂直に立てること。垂直に立てないと、正確には足型が採れません。足趾部分は小趾側から階段をあげるように、スティックを滑らせるのがコツです。採取中に足が動いてしまうことを防止するため、趾間にはスティックを入れないことも大切です。ランドマークは作図を行う際に必要となりますので、付けておくと良いでしょう。

- ・足先点
 - ・脛側中足点
 - ・腓側中足点
 - ・踵点
- の4か所です。

ここまでの講義が終わり、受講生2人1組になって実習スタートです。

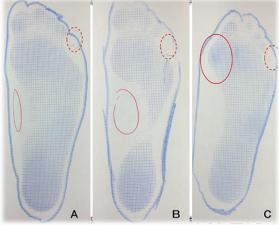
採取の際はスペースも必要になります。加えてソーシャルディスタンスも確保しながら、実習の時間は過ぎていきました。

実習後、2組の受講生に前に出ていただき、実際に採取したフットプリントを使用し被験者の方の足の分析結果を発表する時間もありました。

受講生の説明が行われた様に、採ることまでが終了すると、次は「見方・活用のしかた」です。

フットプリントから何が判るか？

フットプリントから何が判るか？



- **足の形態**
アーチの高低、扁平足、ギリシャ・エジプト、方形
- **荷重状態**
体重の掛かっているところは濃く写る 胼胝、**浮趾**
- **足の変形**
外反母趾、内反小趾
- **左右のバランス**

ポイントとして大きく4つに分類されます。

このポイントを見極めることで、トラブルの原因が単独なのか、いくつかのポイントが複合されたことなのかなどの発見が可能となってくるのです。

フットプリントから得た情報をもとに足の状態を確認して、お客様にも分かりやすく説明できるようにしておくことが重要になります。

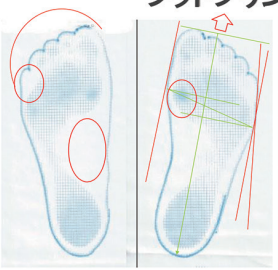
実際に菅野先生の元にご相談に来られた方々の、足の写真・フットプリントを数点見せていただきました。

幼稚園(5歳女子)先天性四肢障害



フットプリントの分析

フットプリントの分析



見る箇所	考 察
浮き趾	趾の機能低下
足趾の方向	足趾の変形
つま先の形状	靴の形状との不適合
第1趾足角度 第5趾足角度	外反母趾 内反小趾
圧力集中	アーチバランス
アーチ	ハイ・ロー
左右差	歩行バランス
踵の向き	内・外

小学生(6年生男子)巻爪・浮趾



フットプリントから足の状態を確認する

フットプリントから足の状態を確認する



見る箇所	考 察
① 浮 趾	趾の機能低下
② 足趾の方向	足趾の変形
③ つま先の形状	靴との適性
④ 第一・五趾足角度	外反母趾・内反小趾
⑤ 圧力集中	アーチバランス
⑥ アーチ	ハイ・ロー
⑦ 左右差	歩行バランス

65歳女性 外反母趾・開帳足右>左



何故、バランスが悪くなるのか？

左右どちらの足がバランスを崩しているのかを見極めながら分析していきます。例えば浮き趾は左右どちらが多いか。フットプリントの趾の濃淡は、バランスが上手く取れているかなどの、重要な確認ポイントとなります。足趾の向きの開きが大きい方、足の形、側角度、胼胝の位置、アーチの高低、左右どちらに荷重されているのかなども分析していきます。

先天性が原因のトラブルの方もおられましたが、半数は靴が原因と思われる例でした。数点の例を見比べていくと、接地面積の濃淡などの違いから確認・分析することによってトラブルの原因が推測しやすくなったのではないのでしょうか？

何故、色々なトラブルが発生するか？

何故、色々なトラブルが発生するか？

不良歩行＝バランスの崩れ＝足部(アーチ)バランスの崩れ
初めは筋肉痛(サロンパス)→次は関節痛(通院) 20年～30年かけて
→最後は骨の変形(オベ)

- 過去の怪我や疾患、骨折、捻挫、糖尿病、脳卒中、リュウマチ
- スポーツ、仕事 ※同じような動きを続けている
- 性差や年齢による筋力低下 ※足・筋骨格系のトラブルは女性が多い
- サイズの合わない靴(特に**サイズの大きい靴**)やヒール靴、職域シューズ(長靴・ナースサンダル・安全靴)や脱着簡便な靴、←生活習慣

多くのトラブルは、アーチバランスの崩れから不良歩行が長年続くことで発症します。始めは筋肉痛で関節痛になり最後は骨変形で手術、という流れが多く見受けられています。そこでまず、私達シューフィッターに課せられた使命は、トラブルの要因であるバランス不良を未然に防ぐこと、そのための靴選び・正しい履き方がとても重要となってくるのです。

フットプリントを活用した調整・パッキング

精度は下がりますが、採取したフットプリントで、ペドカルテのように作図をすることができます。それを利用して、調整・パッキングを行うことも可能です。お客様に更に喜んでいただけるし、接客スキルも向上しますね！



(方法)

外郭線を探り終えたら、ペドカルテ同様にスティックの先端で計測点をマーキングします。

尚、外郭線はスティックの太さを考慮して、外郭線の内側に作図線が通るように画きます。

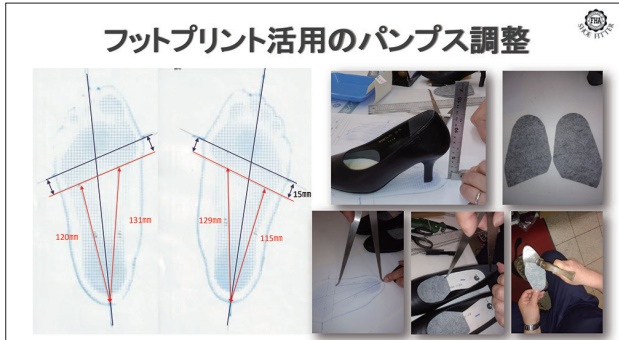
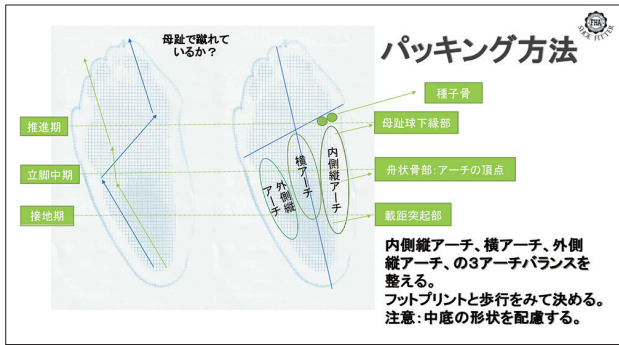
ペドカルテより立体的なイメージがつきやすく、作図すると双方分かりやすいメリットがありますし、第2趾から踵骨に線を結ぶとアーチの開き方を確認することができます。開張足の場合は外側に開いたか？内側に開いたか？両方なのか？など確認後、それによりメタパッドの形状を決めていきます。

両方に開いていれば少し大きいタイプのパッド、外側に開いていれば第4趾までフォローできるL型のタイプなど。

パンプスのフィッティングでは母趾球・小趾球下縁の隙間を埋めたい時に、内外側の踏まずの形状がよく分かりますので、フットプリントを使用すると正確にふまず合わせの微調整が可能となります。



パッキング方法・パンプス調整



フットプリントの活用方法まとめ



「フットプリントは視覚的に訴えることが出来て、靴選びの理解も得られやすいと考えます。お客様と一緒に問題解決を図り『快適歩行を実現する手段』としても有効なツールとなってくれます。これを機に皆様にも現場でご活用いただければ、更に一段上の、信頼されるシューフィッターになれるはずです」と管野先生からの言葉をいただいて講座の終了となりました。

SFCではこれまでも何度か、フットプリントを題材とした補習講座を開催してきましたが、講師の方により道具の使い方や着目点などに若干の違いがあり、それぞれの方法に工夫が感じられました。

同様な題材でも学べることが多いのは、私も含め受講生の皆様にとっても、大変有意義だと感じました。

今回やこれまでのフットプリント講座も含め、内容を上手く織り交ぜ取り入れて、シューフィッターの皆様それぞれの現場に合った方法を見つけていただき、活用のきっかけになっていければと思っています。

最後に…

講座内容には関係なく私事になりますが、実は今回の講師の管野氏とはバチェラー第9期の同期生という間柄になります。

10年前と一緒に1年間学んだ経験と、未だに親交が続いていることは、私にとって人生の宝の一つと言っても過言ではありません。

私の遙か先を進まれている管野氏です。

厚かましいとは思っておりますが、やはり同期生の活躍は誇らしく感じてしまいます。

住んでいる地域も異なり会うこともなかったはずの方とFHAを通じて知り合い、これからも大事にしたいご縁です。

数年に1度くらいしか直接お会いすることが無くても、同じような仕事をし、その現場にいて共通の話で会話も弾みます。

また最初はシューフィッター資格取得目的のためだけの私でしたが、たくさんの方にお会いすることにより影響をうけ、思ってもみなかった方向に人生が進み現在に至りました。

今ではFHAに携わらせて頂いた事に本当に感謝しています。足靴に携わり、同じ方向を向いて進んでいる同志はたくさんいます。新しい出会い、新しいことを学びきっかけになる交流の場として、今後もSFCの補習講座を多くのシューフィッターの皆様にご利用いただければと思っています。



管野 博久 (かんのひろひさ)

有限会社かんのシューズ 代表取締役
 岩手県奥州市水沢字東町 26-8 TEL.0197-24-8192 <https://kanno-shoes.co.jp/>
 FHA 認定上級 (バチェラー) シューフィッター
 FBA 認定フット & ボディバランス アジャスター
 バランスケア・ラボ認定バランスケアエデュケーター



SFC 東日本支部補習講座 2020年9月25日(金)
@東京・両国 国際ファッションセンター

中敷・既存パッドを使ったサイズ調整の知識と ブーツのフィッティング

講師 林 美樹 氏

(株) そごう西武 そごう横浜店営業1部 マイスター

シューフィッター養成講座プライマリーコースのパッキングワーク講師の林美樹氏に、昨年7月に改訂された新テキスト内容に沿った講義と実習をしていただきました。

現在のプライマリーコースでの実際の講義内容に準じた講座のため、シューフィッターは知っておくべき基本的なサイズ調整方法を中心に、すぐに売場で使えるお役立ち情報満載の講義と実習になり、参加者の皆様の満足度の高い講座となりました。

SFC 東日本副支部長 吉田 友則

足は左右でサイズが異なるために、左右の大きさが同じである既製靴のフィッティングでは、必ずどちらかに不具合が生じます。その不具合を靴内にパッドを入れて調整しフィット性を高め、履き心地を向上させる技術をパッキングワークといいます。本日の内容はパッキングワークの基本であり、売場で誰でも簡単にできる技術なのでぜひ実践して欲しいと、林先生はおっしゃっていました。参加者の机の上には ①厚舌型、薄舌型 ②FHA オリジナルパッド6種 ③コロンプス社製市販パッド10種が用意されており、参加者が実際にパッキングを施して、歩いてフィッティングの変化を実感する講義です。自分が実感できたらお客様にも自信を持ってお勧めできます。

中敷・既存パッドを使ったサイズ調整の知識

1. パッキングワークの目的

- (1)靴のフィット性を高める
- (2)パッドにより微調整をするテクニック
最も重要で熟練を要する技術
- (3)治療や矯正を目的としてはならない

お客様がご希望のデザインが、その方の足にぴったりフィットするとは限りません。パッキングワークにより少しでも足にフィットする状態にして差し上げるのが、我々シューフィッターの仕事です。パッド調整は2次元（平面）治療や矯正ではなく、あくまでサイズの微調整です。これにより足を痛めることはありません、また医療行為でもありません。

2. パッキングワークの注意点

- (1)足と靴の正しい知識が必要
- (2)過剰なパッキングをしてはならない
- (3)足に余分なストレスや歪をかけない
- (4)自分自身での実習が不可欠

パッキングワークには知識が必要です。過剰なパッキングは行わない、足を歪ませて余計なストレスを掛けることは禁物です。

4. パッキングの材料

各種材料の単独および組み合わせ

- ①皮革（レザーボード含む）
- ②人工皮革・合成皮革
- ③プラスチック
- ④不織布（フェルト）
- ⑤各種スポンジ
- ⑥ゴム
- ⑦その他

パッキングの材料はたくさんあります。革が良いのですが、高価なのでレザーボード（革くずを固めた物）や人工皮革、合成皮革、スポンジ、ゴム素材が多いです。

また、不織布（フェルト）は加工もしやすく、売場で活用している方も多いと思います。

5. パッキングワークの種類

- (1)足の左右差の調整
小さい足のゆるみを調整
- (2)部位によるゆるみや圧迫の調整
- (3)着用後の変形の修正
パッキングは静止状態で行うため
歩行による不適合や変形に対処する
- (4)フットプリントの採取
ペドカルテが基本
フットプリントは正確性が向上する

人間の足サイズには左右差があるために、左右が同じサイズの既製靴は大きい方の足に合わせます。足長は右が大きくて足囲は左が大きい場合は、基本的には足長が大きい右の方のサイズに合わせます。部分的な緩みによる履きシワや、反対に部分的な圧迫も多いですが、それもパッキングワークで改善することが多いです。例えば、着用後に革が伸びてフィット感が変わってしまったパンプスはどうパッキングしたら良いのでしょうか？



FHA オリジナルパッド 6種

6. パッキングワークの方法

4) パッキングを行う前の確認

- (1)靴が足のサイズに合っているか
- (2)靴が正しく履かれているか
- (3)午後に足が大きくなる
- (4)靴下やストッキングの使用
- (5)新規中敷作成の場合は、材質と厚みを考慮する

普段パッキングをしている方も大勢いると思いますし、パッキングはするべきではないという考えの方もいると思います。パッキングはするべきでないと考える方の理由は、例えばお客様のジャストサイズは23cmなのに、在庫が切れているために23.5cmにパッキングをして販売している人がいることを知っているからだだと思います。パッキングでサイズ調整だけおこない販売するのは、靴に無理やり詰め物をして売ると変わりません。これはシューフィッターではありません。在庫が無いからといってサイズが大きい靴に過度のパッキングを施し販売してはいけません。我々シューフィッターにとって最も大切なフィッティングがめちゃくちゃになってしまいます。パッキングは左右形状の違う足に、左右形状の同じ既製靴を合わせる時に生じるわずかな不適合を調整するものです。パッキングはあくまでも微調整であることを忘れないようにしてください。

女性のパンプスを例にとれば、ちょっとのずれが履き心地を変えますよね。そんな時に施してあげれば喜ばれます。あくまでもフィッティングがきちんと出来ていることが前提です。新品の靴にパッドを2、3枚重ねて入れることはありえません。パッキングの基本は1枚でおこないます。



実習中の参加者の様子

舌型とは？

- * 履いた時、靴が緩い場合調整用として使用
- * フェルト、革、レザーボード、スポンジ、ゴムなどの種類がある
- * 中敷きを剥がしその下に挿入するので、基本的にオープントーのタイプには使用できない。
- * インポートに多い中敷が剥がれないタイプには使用できない
- * 中敷の上に張り付けるのは基本NG

次は舌型です。人間の舌に形が似ているのでそう呼んでいます。舌型は調整する靴に合わせて加工します。いろいろな種類があり、革が一番良いのですが、レザーボードでも高価です。スポンジは潰れるので気休め程度です。使用法は中敷を剥がして中敷と中底の間に挿入します。大事なことはサンダルやオープントーパンプスなどのオープントータイプには使用できません。ブーツも中敷が半敷であったり、手が靴の前足部まで入らないためにやりにくいです。また、インポートに多い、中敷が剥がれない靴にはできません。そういう場合は中敷の上に薄いインソールを入れて、その裏に舌型を貼りつける方法があります。紳士靴も中敷が半敷のものがあるので、この方法でやってみてください。中敷きの上に舌型を張りつけ、足と舌型が直接、触れるのはNGです。

お客様に「自分で入れるので舌型を下さい」と言われることがあります。差し上げないで必ずシューフィッターが調整してください。お客様は自分でやると舌型を中敷の上に乗せるだけなので、クシャクシャになりストッキングが汚れたり、前にずれて爪先が詰まってしまう、クレームになった経験がありました。

フェルト舌型の加工方法と装着手順

- * 厚舌型 (3.4mm)
- * 薄舌型 (1.7mm)



これ以外にも アーチ型舌型、
4mmを超える舌型 など多種あり

使い分けが大事

舌型は種類がいろいろあります。今日は厚さ 3.4mm と 1.7mm の 2種類です。厚舌型は少し潰れます。3.4mm が 3mm になるイメージです。薄舌型は完全にプレスされていますので潰れません。それ以外にはアーチ型舌型とか 4mm を超えるタイプもあります。使い分けが大事で、この 2種類が良いわけでは無いですが、FHA でも扱っていますので推奨しています。

販売時に緩い場合は必ず下のサイズを両足とも試着してください。下のサイズが販売不可の場合のみ、舌型調整をおこないます。

「ボール部をきつくする」という考え方が舌型の特徴です。林先生の感覚だとパンプスは厚舌型を入れることによって、足囲が 2つ小さくなります。例えば EE が D になります。薄舌型は 1つ小さくなります。EE が E になります。

皆さん真剣な眼差しで加工していました。

中敷が剥がせない靴は両面テープで仮止めを行いました。その時、薄舌型と厚舌型との厚さの比較や、そのままの型で入れた場合と端をカットした時の比較、舌型の位置を前や後ろにずらした時の比較など、様々なパターンを自分の足で体感する実習を行いました。

市販の中敷きの使用方法

- * 基本的に履いた時、緩い場合に使用する
- * すべてのケースに使用できるオールマイティの中敷きは存在しない。ケースバイケースで中敷を変えていく事が必須
- * プライマリーでは足のアーチを補正する中敷は取り上げない。
- * 機能が同じならばメーカーは問わない

市販の中敷はたくさんの種類がありますが、本日使用する物はコロンプス社製です。コロンプス様はFHAの会員企業であることと、多くの方が使用しているためにサンプルで用意しましたが、コロンプス社製を使わなくてはいけないわけではありませんので誤解の無いようお願いいたします。これから説明する中敷の使用方法は、あくまでも一つの方法です。もっと裏技はありますが、基本の使用方法を説明します。種類はたくさんあります。今からの説明は、これだけあれば何とか全ての靴種に対応できる物です。オールマイティな中敷があると思っているお客様もいますが、そのような中敷はありません。ただ、多くの種類を一度には使用しません。

まずは靴が緩い場合に使用します。中敷の上に入れます、貼る場合もあります。



これは「つま先用」で、レギュラーと薄型があります。基本的に靴の前足部に置きます。緩い靴をきつくします。



多くの方が使用している「つま先コンフォート」です。シリコンタイプで、1mm・2mm・3mmがあります。

足うらサポート



とても分厚く、真中が盛り上がり、長いです。アーチサポートがあり、少々立体的になっています。



「つま先クリーンプロテクター」です。厚さが0.6mmしかなく、こんな薄さで使えるのか？と思われませんが、もともとは汚れ防止が目的でサイズ調整のための中敷ではありません。本来は素足で履くサンダルの汚れ防止のための物ですが、滑り止めにもなります。

販売時に効果的なのはサンプルを用意することです。販売員のどんな言葉よりもお客様ご自身が体感していただくことが一番、説得力があります。また、片足だけ装着して左右で履き心地を比べていただくと違いが分かりやすく効果的です。

全敷きインソールタイプ



厚いタイプと標準タイプがありますが、通常は標準タイプから使用します。全敷きタイプは紐靴など、留め具がある靴に効果的です。特徴は爪先部は薄く、踵はカップになっています。中足部は膨らんでいて甲を押えます。全敷きタイプとFHAオリジナルパッドの合わせ技も有効です。立体的な中敷きは効果的で、この程度の凹凸なら足を痛めることは無いと思います。

全敷きタイプはパンプスには使用しない方が良いでしょう。パンプスに敷くと踵が抜けてしまいます。

スポットパッド

* ステッチ、トップラインなどの靴の硬い場所が当たって痛いときに効果的



緩い靴のパッキングを話してきましたが、これは痛い時です。足が靴に部分的に圧迫されて痛む時は、この「スポットパッド」が有効です。厚みがあるので靴に圧迫される部分が離れ、また滑りにくくなります。ただ、母趾・小趾・踵は剥がれてしまいます。サンダルを素足で履く方にもおすすめです。これも効果を実感しやすいので、サンプルがあった方が良いでしょう。

足うらサポートカップ



「足うらサポートカップ」です。かなり分厚いので踵に合わせて置くだけで、貼らなくて大丈夫です。ブーツの踵がパカパカする場合は多くの方が全敷を勧めますが、あまり改善しないです。これが一番効果的でハーフインソールタイプなので、趾先はきつならず、趾は動きます。林先生曰く、踵がパカパカするけどサイズを落とすときつい場合は、これで7割近く対処できるそうです。

ブーツのフィッティング

ブーツのフィッティングポイント



ブーツのフィッティングで大事なのはトー部、ボール部、踵の3か所で、特に踵がポイントです。

ただ、ブーツの踵を触診してわかりますか？カウンターも入っているし分かりづらいと思います。さて、どうすればよいのでしょうか。踵の代わりに甲をチェックします。ヒールグリップがわからないので甲を押えて確認しましょう。押さえた時にペコペコするようではゆる

いです。この状態は踵が余っているのでサイズを下げます。甲に張りがあり、ピンとしていたらとりあえずはOKですが、完璧ではありません。フィッティングチェックはどの靴でも、歩いてもらい歩容を確認することが大切ですが、ブーツは特に歩いてもらって「質問」することが大切です。ちょっと歩いてだけで緩いと、かなり緩いです。甲を押えてペコペコするようだとサイズを下げ、張りがあればとりあえず良いですが、踵が浮かないか質問をすることが大切です。その時に「踵が浮きませんか？」と聞くと「分からない」と返ってきますので、「踵がパカパカしませんか？」と質問すると「します」「しません」と明確な返答があります。お客様が具体的に答えられるような質問を投げかけましょう。



ロングブーツのフィッティング



カジュアルタイプ



エレガンスタイプ



これは筒幅がピッタリです。

問題はきつい時で、ロングブーツのファスナーが上がらない、上がったけれどパンパン、この時がシューフィッターの出番です。簡単に言えばファスナーがきちんと上がれば販売可能です。革も履いているうちに多少は馴染みます。しかし、ここからが大事で、お客様に必ず「今の絞めつけは大丈夫ですか？」と質問してください。「大丈夫」と返答があれば、だんだん馴染んできますし、ストレッチャーでの対応が可能です。少しでも気になるなら販売不可です。ロングブーツの筒幅の締め付けはボール部より耐えられません。私も10年前に失敗したことがあります。

歩いた時にパカパカするが、サイズを下げたらきつくて痛い、捨て寸もない。そんな場合は「足うらサポートカップ」を使用します。これは半数タイプで踵に合わせます。踵が少々持ち上がりますが、甲は止まります。これが最も効果が大いなので、「足うらサポートカップ」からスタートします。ハーフィンソールなので指先はきつくなりません。土ふまずも少しサポートしますが、潰れてきます。その時が交換の目安です。



ロングブーツのフィッティング

●筒幅がきついときの判断基準
ファスナーが上までしっかり上がれば販売可



ただし



「今の締め付けは大丈夫ですか?」と必ず質問する事



ロングブーツは筒幅もチェックしなければいけません。カジュアルタイプとエレガンスタイプではチェック方法が違います。ジョッキーなどのカジュアルタイプは筒幅が余ってもパンツインすることもあります。エレガンスタイプでヒールが高く、綺麗でピタッとするタイプは余裕があると見た目が良くないです。ではどのような場合が緩いか、きついのかですが、筒の内側と外側の両方が余っている時、内側はピッタリだが外側は人差し指1本分以上余っている場合は緩いです。カジュアルタイプなら良いですが、エレガントタイプは問題です。ちょうど良いは内側がピッタリで、外側は人差し指1本分までが許容範囲です。



内側はピッタリだけど外側が空いています。このパターンをよく見ますが、緩いです。指1本までが許容範囲です。

実際、モデルの方のブーツに中敷を入れて試してもらいました。

ブーツを履いていただき、ト一部、ボール部、ヒールの代わりに甲を押えてチェックすると、ペコペコではないですが少し動きます。ちょっと緩いかなという感じです。続いて歩いていただき「踵がパカパカしませんか」と質問します。「パカパカはしないが、少し動く」とのことです。一番効果の高い「足うらサポートカップ」を使います。甲を押えると先程よりフィットしています。「踵は変わりましたか?」「フィット感はありますが、少しきつい」とのことです。踵が上がって前に滑る感じがするとのこと。次に「バーマ・フトゥーラ」を使用します。順番としてはこの方法が早く決まります。一番きついところから入っていき、徐々に緩めにした方が良いでしょう。「バーマ・フトゥーラ」は先程より甲が張っていません。ただし、踵のパカパカは少し減って、甲の締め付けも解消です。「前に滑る感じもない」とのこと。あとは足裏の感覚に違和感が無ければOKです。写真の様に甲を押えながらチェックするといいでしょ。

今日の林先生の講演は、昨年7月からのシューフィッター養成講座プライマリーコースの「パッキングワーク」講義に準じています。シューフィッターの資格をまだお持ちでない方で、この記事を読んで興味を持たれた方はプライマリーコースの「パッキングワーク」でさらに詳しく学ぶことができます。シューフィッター養成講座の受講をお待ちしております!



林美樹 (はやしみき)

(株)そごう西武 そごう横浜店営業1部
マイスター

FHA 認定上級(バチエラー)シューフィッター
シューフィッター養成講座
プライマリーコース講師、実技指導員

生活における新たなベーシックの探求。 「快適性」を再考する

(株) ジャルフィック チーフエディター 岡村 嘉子

世界最大のシューズの見本市であるミカムが、21年春夏シーズンに向けて、9月20日から23日までの4日間、イタリアのミラノにて開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大の中であって、出展社も前年の半分以下と、いつもとは全く異なるものとなりました。日本をはじめイタリアへの渡航に制限を設ける国も多く、海外からのビジターには期待ができないことは明白ではありましたが、産業を未来に繋げる場としての重要性を鑑みた勇断だったと評価されます。

その中では、産業としての機動力も発揮されました。同展に加え、バッグを中心とした革小物の展示会「ミペル」、そして皮革を中心とした素材展の「リネアペッレ」等、全部で6つの展示会が# STORONGERTOGETHERというスローガンを掲げ集合。日程を重ねながら同じ場所で展示を行うことで強いメッセージを発信するとともに、集客力を向上させました。この集合体としての展示会へのビジター数は16,000名と発表されています。また、リアルな展示会に並行して「MICAM Milano Digital Show」というオンライン展示会も行われています。

今シーズンのコレクションは、各ブランドが規模を縮小しサンプル数も絞り込んでいる印象です。沈滞する市場を考慮して、今の流れを引き継ぎバージョンアップさせた堅実なアイテムで構成されたものが多く、特に「快適性」への視線を強く感じました

「ポストスニーカーが大きなテーマに」

サスティナビリティという考え方、そしてリラックスした穏やかな日常への希求が大きな時代の流れとなる中で、今シーズンも引き続きナチュラルなムードが広がっています。デザインとしてもシンプルなものが多く、すっきりとした抑制感のある表現になっています。

大きなテーマとなったのが、“ポストスニーカー”。つまり、今や男女問わず幅広い客層に広がった“スニーカー”というアイテムの機能性を、革靴で模索する方向性です。もはやスニーカーのソールに革製のアッパーを乗せるといった単純な表現ではありません。心地良いフィッティングや軽快な歩行感の実現に向けて、素材やデザイン、底周りの仕様等に対するそれぞれのメーカーの工夫と提案が活発に行われるようになりました。

また、サンダルにおいてもスポーツサンダルという名称で市場に定着しているカテゴリーが、革靴メーカーにとっての新しい靴種として受け止められるようになっていきます。スニーカー同様に、このスポーツサンダルのフッ

トウエアとしての役割を、革靴をベースに再構築するという方向性が浮上しています。

今シーズン、“快適性”に対する意識や配慮は、デザインを提案する上で欠かすことのできない重要な要素です。しかし、これは今シーズンに限ったことではないでしょう。今後の私たちの生活における新しいベーシックシューズというものを想像した時、このような靴種が自ずと頭に浮かんでくるからです。

一方で、温暖化やヒートアイランド現象を背景に、夏仕様のシューズへのニーズは高まりを見せています。日本では、熱中症対策として高校野球に白のスパイクの使用が可能となったのも記憶に新しい出来事。さまざまな実験結果によると、黒と白とでは約10度の温度差があると報じられています。今回のミカムでもシーズン性の高いサンダルや、ミュールが大きく台頭しています。そして白というカラーも。そしてこの難しい状況下であっても、それらは好調な売れ行きを見せています。

FORM & ITEM

「モカシンは継続。モダンな印象のスクエアトゥが浸透」

前シーズンからのマーケットの流れを受け、今シーズンもモカシンが商品構成における大きな柱となっています。トラディショナルな定番アイテムに変化をもたらす要素は、ビットやタッセルといった装飾、あるいは異素材コンビネーション、硬質スポンジのソールを用いる等のディテールの工夫。豊富なバリエーションで展開されています。また、ポストスニーカーを担うものとして、ソフトなつくりの外羽根タイプの提案も拡大しています。

好調のサンダルやミュールでは、広めのスクエアトゥのモダンさが新鮮。多くのブランドが提案することで、トレンドアイテムとも言えるひとつの大きな流れとなっています。特にヒールが

2 cm 前後の低寸のものが好調とのこと。

一方、スポーツサンダルをモチベーションとしたアイテムも際立ちました。例えばゆったりとした2本のベルトで構成されたアッパーに、フットベット、さらにスポーティーなスポンジソールのセットアップ。従来のスポーツサンダルのような快適性に今のファッションとしての汎用性が加わり注目を集めました。

ラストとしてはフィッティングの快適性を意識した、足なりのゆったりとした印象のフォルムが目立ちます。一方ヒールも、履きやすくストレスのない2 cm 前後の低寸が主流。高いものでも4 cm くらいまでといった印象です。



ダンスシューズを思わせるポストスニーカーといった印象のソフトなレースアップ



スポーツサンダルをバージョンアップしたような一点。2本ベルトのアッパーは今シーズン多く見られるデザイン



継続して人気のモカシン。中底にカーボンファイバーを使用したメーカーオリジナルの製法によるもの



スリッパ感覚のライトなサンダルは必須。スクエアトゥのモダンさが光る

MATERIAL & COLOR

「ソフト感が要。カラーは圧倒的にホワイト」

足への柔らかなフィッティングという観点から、素材はスムースの中でもソフトなタッチが特徴のナッパ調、そして細かなシボのシュリンク調が増加傾向にあります。また、これらと軽やかなラフィアやキャンバス等とのコンビネーションも、その新たなナチュラル表現が魅力的に映ります。

また、柔らかなタッチに加え、手仕事感が魅力のメッシュも甲ベルトやアッパーの一部に多用されます。さらにメッシュ風のエンボス素材で同様の効果を表現するものも登場。

一方、トラッドがひとつの大きなトレンドとして存在する中で、クラシカルな雰囲気の小型のクロコダイルやリザードエンボスにも関心が集まります。それらは時には正統的に、また時には予想外の色をまとうことで、今を感じさせる新鮮な表情をつくり出しています。

カラーは、圧倒的に多かったのがホワイト。トレンドやマーケットの状況、あるいは生産リスクなどを総合的に捉えコレクションを熟考する中で、最も可能性の高いカラーと判断されているようです。また、これに続くカラーとしてはライトベージュが挙げられます。

ナチュラル感を表現するカラーとしてブラウン系は欠かせませんが、中でも大きく浮上したのがライトブラウンです。新しい定番性を感じさせる一方で、部分使いによってアクセント的な役割も果たす今シーズンのマストカラーとして重用されています。

ナチュラルなイメージの中にアクセント力を発揮するのが、スカイブルー、イエロー、オレンジといったビビッドなカラー。これらは明るい色調ながら、起毛素材に乗せることで抑制感のある発色となっている点がポイントです。



柔らかさを感じさせるシュリンク調。
“快適感”が素材選びのポイントに



ソフトなレザーで編んだメッシュ。
手仕事感のあるメッシュが新しいトレンドとして浮上



クラシカルなリザードエンボスにはクリーンなホワイトが新鮮



ラフィア風の素材感がノスタルジックなムードを醸し出す

DETAIL & ORNAMENTATION

「快適感のためのディテール。繊細なライン構成に注目」

足への快適性を追求する方向性はディテール表現にも表れています。その重要な一端を担うソールには、スポンジ素材の軽量なラギッドソールや硬質ゴム等、歩行の機能性に着目したものがバリエーションが豊富に展開されています。

また、サケット（袋）製法という屈曲性の高い柔らかな靴をつくりだす製法を登用するなど、靴の構造にアプローチする提案にも注目が集まりました。さらに柔らかさや足当たりの良さを視覚的にアピールするために、トップラインを袋状にするという、細やかなディテール表現も特筆されます。

オーナメントとしては、トラッドアイコンがさま

ざまな靴種に登場します。ビットやタッセル、あるいはバックルをアレンジしたもの、さらにコインローファーのサドルをモチーフとしたベルトなど、ユニークなアイデアが印象的です。また、プレーンな外羽根のアクセントとして、メダリオンを施すデザインも目立ちました。

快適性の高い、安定感のあるアイテムが主流となる一方で、エレガンスアイテムでは、履きやすさと繊細なデザイン性を兼ね備えたものが魅力的に映ります。特にラインで構成されたアッパーの提案は多く、そのラインをより細く華奢に表現することで新鮮なアクセサリ効果を発揮しています。



ストレッチレザーをボロネーゼ製法で仕立てる。
レースアップを装飾としたスリッポン



トラッドアイコンでもあるメダリオンは装飾として多出



ビットをモディファイしたようなオーナメントをサンダルに乗せる



華奢なストリングで構成されたアッパーのアクセサリ感。
直線的なデザインでモダンな雰囲気に



岡村 嘉子 (おかむら よしこ)

大学卒業後、ジャルフィックに入社。
新業態研究誌「Zerohour」の編集に携わり、衣・食・住・遊にわたるさまざまな新コンセプトショップの取材・執筆を経験する。現在はシューズ&バッグに関する機関誌「JALFIC」の企画・編集及び、トレンドセミナーや海外見本市レポートセミナーなどで講演を行なう。流行色情報センター（JAFCA）が発行する「流行色」にもシューズ&バッグトレンドについて執筆中。



会員企業紹介

23

バン産商株式会社

Good Foot & Shoe, Happy Life
よい足、よい靴、楽しい暮らしのために、

当社の卸売部門は足と靴のトラブル解決のため、最適な靴を全国のお取引先様へお届けいたします。直営小売部門は本当に足に良い靴のご提供をモットーにしています。販売だけでなくフットケアや、足と靴のカウンセリングを行ってトラブルを解決し、新たな心地よい“Shoe Life”をご提供いたします。また、ドイツの最新技術と機器を用いオーダーインソール、特別注文靴の製作などのご要望にもお応えいたします。

フスウントシューインスティテュートは足と靴のプロフェッショナルを養成する学校です。ドイツ式フットケア「フスフレーゲ」や、オーダーインソール・オーダーメイドシューズ製作が学べる「オーソペディシュー」セミナーなど多数開講しております。

- ・創業：1981年2月
- ・資本金：4,000万円
- ・代表者：遠藤 道雄
- ・従業員数：44名
- ・事業内容：靴製造・卸・小売り・スクール運営
- ・本社所在地：〒111-0043
東京都台東区駒形 2-5-7



会員企業紹介

24

株式会社ムーンスター

当社は地下足袋の誕生からゴム産業の発展により栄えた久留米で、140年以上の長い月日のなか“精品主義”を脈々と受け継ぎ、ひたむきに靴をつくり続けてきました。職人技が活きるヴァルカナイズ、人間工学に基づいたウォーキングシューズ、紳士靴や婦人靴、そして学校の上履きやベビー靴。一人ひとりの足、それぞれの歩みを支える靴を久留米の自社工場で培ったクオリティとともに、これからも発信し続けます。

当社の靴づくりを代表するのが、ヴァルカナイズ製法と、インジェクション製法。特に、生ゴムに硫黄を加え熱反応によりソールとアッパーを接着させるヴァルカナイズ製法は、国内で採用しているメーカーはわずかです。しかし私たちは、しなやかで丈夫な仕上がりとし美しい風合いを叶えるべく、頑なに昔ながらの製法を守り続けています。妥協を許さない、ものづくりの姿勢。これがムーンスターの“精品主義”です。

- ・創業：1873年10月20日
- ・資本金：13億円
- ・代表者：井田 祥一
- ・従業員数：883名
- ・事業内容：靴の製造・販売
- ・本社所在地：〒830-8622
福岡県久留米市白山町 60



会員企業紹介

25

株式会社村井

「足もどから人々の健康で、快適な生活づくりに貢献する」これが私どもの企業理念です。足や靴に関連するモノやサービスの提供を通じて、より健康的に、より快適に、そしてより楽しく日々を過ごしていただくことで、人の役に立ち、社会に貢献することを会社の目的としています。

当社は、研究開発型の総合靴部品メーカーとして、靴の付加価値を高める様々な部品（シューパーツ）を生産しています。そして「私たちの持っている知識やノウハウを、より多くの人々の健康と快適さのために、さらに大きく役立てていきたい」という思いから、お客様に直接ご利用いただけるフットケア製品（インナーソール、パッド、ルームシューズなど）もご提供しています。

新たな価値の創造とその提供を通じて、「人の暮らしを豊かにする」こと、そして「長年にわたって培った知識やノウハウにさらに磨きをかけて、次の世代につなげていく」ことが私たちの社会的使命だと考えています。

- ・ 創 業：1931年3月10日
- ・ 資 本 金：1億円
- ・ 代 表 者：村井 隆
- ・ 従業員数：111名
- ・ 事業内容：靴部品および副資材、靴関連製品の製造販売
- ・ 本社所在地：〒170-0004
東京都豊島区北大塚 2-27-4



会員企業紹介

26

株式会社リーガルコーポレーション

靴を通してお客さまに、足元から美と健康を提供する。

当社は1902（明治35）年の創業以来、一貫して靴の企画・製造・販売に従事しております。靴を履物であると同時に文化・生活の創造の原動力のひとつととらえ、新しい価値を提案し、提供することで事業の発展を図ってまいります。

私たちは長年、靴を通してお客さまの生活文化の充実のために新たな価値を提案してまいりました。人の生活にとって欠くことのできない大切な靴を提供している気構えが「REGAL」のブランドビジョンである「The pride to share.」に込められています。「お客さまとともに誇りを分かち合う」私たちの想いは時代が変わっても同じです。

これまでは「伝統と歴史」に軸足を置いてきましたが、今後も「伝統と革新」「歴史と進化」をバランスよく取り込み、企画、開発から製造、販売までスピード感を持って変革に臨んでまいります。

- ・ 創 業：1902年1月21日
- ・ 資 本 金：53億5,500万円
- ・ 代 表 者：武川 雄二
- ・ 従業員数：190名（連結1,173名）
- ・ 事業内容：靴の製造、販売、修理
- ・ 本社所在地：〒279-8553
千葉県浦安市日の出 2-1-8

【講座における新型コロナウイルス感染予防への対応】 当会としては講座を安全に受講していただけるよう以下の対策を行っております。

- ①手指消毒用のアルコールを設置 ②講義ごとの換気 ③座席間隔を広げソーシャルディスタンスの確保（一部実習についてはフェイスシールド使用）
④受付にて検温や体調の確認 ⑤講師、事務局スタッフのマスク着用と手指消毒、うがいの徹底 ⑥受講者へのマスク着用と随時手指の消毒のお願い

第9回シニア専門コース認定者一覧（2020年11月1日認定）



氏名	会社名
藤城 佐知子	株式会社溝口製作所
槌谷 伸輔	株式会社 SPES 高根木戸接骨院
久野 晶子	株式会社ジーフットグリーンボックス 常滑店
徳永 みどり	H.P.S. 唐人町店
矢作 和希	株式会社ジーフットグリーンボックス 川口前川店

氏名	会社名
大久保 享	プラス・レイ株式会社 足ゆび養生処
内田 基博	ダンロップクラブハウス新宿店
山中 直美	株式会社 fitfit
酒巻 美紀	キヨタ株式会社 キヨタ東京中央店
高岡 みつ美	株式会社 fitfit

氏名	会社名
織田 順子	福祉用具セレクトショップりんりん
岡田 絵美	
遠藤 千恵子	株式会社おかだ studioJ

(13名認定)

（受講者の声） 普段は義肢装具士として主に靴型装具の製作に携わっています。より多くの知識を身に付け、靴に纏わる引き出しを増やしたい思いで受講を決めました。対応する患者様の中にはシニア世代の方も多く、今回改めてその世代を取り巻く環境を深く知ることができ、模擬体験では今まで客観的な対応をしてきていたことを痛感。今後の対応に生かせる貴重な体験となりました。靴はどれだけ追求しても本当に奥深くて難しいと常々感じています。現状に満足することなく、患者様に満足していただける靴提供の一助になれるよう邁進するのみです。学が喜びを実感出来る貴重な時間をありがとうございました。 (株) 溝口製作所 藤城 佐知子

第21回バッチラー（上級）コース申込み受付中

日程：2021年7月～2022年3月
スクーリング3日間×3回
・7月14日（水）～16日（金）
・11月17日（水）～19日（金）
・2022年3月16日（水）～18日（金）

会場：東京・両国 国際ファッションセンター
受講料：260,000円（税別）



第10回シニア専門コース申込み受付中

日程：2021年10月21日（木）、22日（金）
会場：東京・両国 国際ファッションセンター
受講料：66,000円（税別）



第13回幼児子ども専門コース申込み受付中

日程：2021年12月9日（木）、10日（金）
会場：東京・両国 国際ファッションセンター
受講料：66,000円（税別）



※日程は変更になる場合がございます。

日本の革靴産業の誕生から150年！

日本の革靴産業は、明治3(1870)年3月15日に旧土佐藩の西村勝三氏が東京・築地入舟町に日本初の靴工場、伊勢勝造靴場を開設したのがはじまりとされます。以後、殖産興業と富国強兵という時代の要請に応じて各地に造靴所がつくられ、今日につながる日本の靴産業の基礎が築かれました。靴産業誕生の日(3月15日)は、のちの1932(昭和7)年に、東京靴同業組合が「靴の記念日」に制定。太平洋戦争と敗戦の混乱、高度成長、ファッション化、国際化などの社会変化を乗り越えて、今年、「靴産業150年」を迎えることになりました。



※SFCでは年会費の口座振替を導入しています。口座振替にすると、払込の手間が省け、振込手数料が0円になる利点がございますので、まだお手続きをされていない方は、来年度よりは是非ご利用ください。申込用紙をご希望の方は事務局までご連絡ください。

※勤務先や自宅住所等を変更した時は必ず事務局までご連絡ください。連絡が無い場合はトレデュニオンや補習講座、資格更新の案内等をお届けできない場合があります。

ホームページ FHA/SFC 会員専用パスワード：kmhs7646

○・・・トレデュニオン・・・○

“トレデュニオン”は、フランス語です。英語ではHyphen（ハイフン）にあたります。FHA 事業理念のもとにFHA 会員、SF、SFC 会員の相互を密接に結ぶ情報誌という意味で命名しました。

No. 65 (通算 100 号) 2020 年 12 月 1 日 発行
〈編集・発行〉一般社団法人 足と靴と健康協議会
〒111-0032 東京都台東区浅草 7-1-9
Tel. (03) 3874-7646 Fax. (03) 3875-0880
Email fha@tokyo.email.ne.jp URL http://www.fha.gr.jp/
禁・転載複製

表紙デザイン：株式会社ジャルフィック 池田 正晴